

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【食プロジェクト】豊富な食文化と異文化との融合

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
1	人・農地プラン推進事業	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図ります。 また、国の事業等を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図ります。	8.9,11,15	決算額:0千円 予算額:1,000千円	人・農地プランの作成地区数	平成25年度 30地区 平成26年度 31地区 平成27年度 32地区 平成28年度 32地区 平成29年度 32地区 平成30年度 32地区 令和元年度 32地区 令和2年度 33地区 令和3年度 33地区	100.0%	令和4年度に想定されている「人・農地プラン」の法定化により、ルールとして継続的に取り組むべきものと位置付け、プランの更新を行うことにより地域農業の活性化を図る。 また、関係諸機関(香川県、農業委員会、香川県農地機構等)と連携し、今後求められる地域が目指すべき将来の具体的な農地利用の姿(「目標地図」)の作成に取り組み、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。 また、国の事業等(農業次世代人材投資資金等)を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図る。	「人・農地プラン」の更新及び「目標地図」の作成には地域での話し合いが不可欠であるため、新型コロナウイルス感染症拡大に細心の注意を払い、検討会を行う。	令和5年4月1日より施行される農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、目標地図及び地域計画の策定が義務付けられた。これらの策定に向け、地域の意向の調査・分析を行う。 また、関係諸機関(香川県、農業委員会、香川県農地機構等)と連携し、地域計画や目標地図の作成に取り組み、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。	継続	農林水産課
2	高松ブランド農産物育成支援事業	地産地消を基本とした消費者との共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を「高松産ごじまん品」として市民に提供するとともに、情報発信や農業体験教室、料理教室等の開催を通して市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図ります。	8.9,11,15	決算額:1,810千円 予算額:3,000千円 5月補正21,500千円	高松産ごじまん品関連イベント ・ たかまつ食と農のフェスタ ・ おにぎり教室(保育園・幼稚園を対象) ・ 野菜塾 ・ 料理教室 ・ 農産物のPR(試食・販売等) など	平成25年度 46回 平成26年度 49回 平成27年度 46回 平成28年度 47回 平成29年度 36回 平成30年度 36回 令和元年度 36回 令和2年度 6回 令和3年度 8回	133.3%	JA香川県等と連携し、農産物のPR、地産地消・食育、及び6次産業化・農商工連携の推進を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、販路の喪失、外食需要の減少による出荷量の減少や市場価格の低迷等に加え、国際物流の停滞等による生産資材の高騰により、多大な影響を受けている農畜水産業について活性化を図るため、市内小中学校の学校給食に「高松産ごじまん品」を中心とした地産農畜水産物を提供することともに、地産地消を推進し、提供した素材の情報を教育現場等で発信した。(5月補正予算)	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めた上で、食育・地産地消の推進、農産物のブランド化を推進するため、各種取組を実施する。	継続	農林水産課
3	たかまつ市場フェスタ事業	高松市民の台所としての卸売市場の役割や流通の仕組みを広く市民に周知・啓発するとともに、生鮮食料品等の流通の円滑化と消費拡大を図るため、市民と卸売市場との交流の機会を確保しています。	2.12,14	決算額:2,000千円 予算額:2,000千円	来場者数	平成25年度 17,000人 平成26年度 17,500人 平成27年度 18,000人 平成28年度 18,500人 平成29年度 19,000人 平成30年度 20,000人 令和元年度 23,000人 令和2年度 中止 令和3年度 中止 令和4年度 中止	開催を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食料品の消費拡大を図る。	感染拡大の収束の見通しが立たないため、今年度の開催は中止とした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食料品の消費拡大を図る。	継続	市場管理課

第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

【食プロジェクト】豊富な食文化と異文化との融合

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R3決算額(千円) R4予算額(千円)	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和4年度事業内容	令和4年度におけるコロナの影響や コロナに対する具体的な対応や取組	令和5年度事業見込	今後の方向 性	主管課 (関係部署)
4	市場特別開放事業	普段は、許可を受けた人しか入場できない卸売市場で、お買い物をしていただくことにより、高松市民の台所としての卸売市場の役割を知っていただくとともに、市民に親しまれ、市民に関われた市場づくりを推進しています。	2.12.14	決算額: 0千円 予算額: 832千円	実施回数/来場者数	平成25年度 5回/6,900人 平成26年度 5回/5,800人 平成27年度 5回/5,000人 平成28年度 5回/5,200人 平成29年度 5回/5,100人 平成30年度 5回/5,300人 令和元年度 4回/4,400人 令和2年度 中止 令和3年度 中止	開催を中止した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食品の消費拡大を図る。 令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせていたが、感染防止対策を講じたうえで、令和5年1月より再開予定。	イベントの内容を見直し、密にならないための来客者同士の距離の確保及び動線を整備するとともに、アルコール消毒等の徹底を行いながら、イベントを開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるほか、市民の満足度を維持できるようICTの活用等イベントの内容を見直しながら事業を継続し、市場の認知度向上及び生鮮食品の消費拡大を図る。	継続	市場管理課
5	市場DE自由研究事業	小学生及びその保護者を対象に、市場の流通の仕組みや機能を、夏休みにおける自由研究の題材として提供することにより、市場の役割等の知識を深めます。 今後は、市場をより身近に感じていただけるような事業展開とともに、引き続き、市場流通の拡大につながるよう地産地消の題材も取り入れていきます。	2.12.14	決算額: 120千円 予算額: 150千円	実施回数/参加者数	平成25年度 6回/226人 平成26年度 6回/218人 平成27年度 6回/202人 平成28年度 6回/194人 平成29年度 6回/180人 平成30年度 6回/181人 令和元年度 6回/162人 令和2年度 中止 令和3年度 3回/85人 令和4年度 1回/18人	—	令和3年度においては、各部1回の開催に対して2倍以上の応募があったため、令和4年度は各部2回の計6回実施予定であったが、 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、花き部1回の開催を除き中止とした。	令和3年度に引き続き、検温や消毒、体調管理等の感染核防止対策を十分に講じ、感染状況を見極めながら事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施し、市場の認知度向上及び生鮮食品等への興味関心の向上を達成する。	継続	市場管理課